令和７年９月吉日

保護者様

横浜市立鴨居小学校
校　長　角皆　裕文

「かがやき」について

日頃より、本校の教育活動へご協力いただき、ありがとうございます。前期末と学年末の年間２回、子どもの学習の様子をお知らせする通知表「かがやき」を配付しております。「『かがやき』についての考え方」・「『かがやき』に記載されている項目」についてお知らせいたしますので、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

１.「かがやき」についての考え方

本校では、児童一人ひとりの可能性を積極的に引き出すとともに、豊かに自己実現を図れるよう指導と評価を進めています。学習評価は、「子どもたちにどのような力が身に付いたか」という学びの成果をとらえ、子どもが自らの学習を振り返って次の学習に向かうことができるように行っています。

前期には観点ごとの評価を、後期には観点ごとの評価に加え、その進歩の状況や課題などを所見として記載します。

「かがやき」を通して保護者の方々と共通理解を図り、学校と家庭とが協力して児童の成長を支援していきたいと考えています。

２.「かがやき」各項目について

（１）各教科の学習のようす

評価規準に照らして、その項目ごとの学習の達成状況を表します。

令和２年度から始まった新学習指導要領では、子どもたちがこれからの変化の激しい社会を生きるために必要な力である「生きる力」をより具体化し、教育課程を通じて育むことをねらいとしています。具体的には、新しい時代を生きるために必要な資質・能力を次の３つの柱に整理し、それをもとに「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の３つの観点で評価します。本校では、この観点別の評価を重視し、教科ごとの評定は記載しません。

＜「資質・能力」の３つの柱＞

①何を理解しているか、何ができるか（生きて働く「知識及び技能」の習得）

②理解していることやできることをどう使うか

（未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」の育成）

③どのように社会や世界と関わり、よりよい人生を送るか

（学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養）

〇評価の見方

＜１年生前期＞
・評価資料が少ないことから〇・△の二段階評価で表します。
＜１年生学年末・２～６年生＞
・十分満足できると判断するもの……A印
・おおむね満足できると判断するもの……B印
・努力をしてほしいと判断するもの……C印
＜個別支援学級＞
・すべての項目を文章表記としています。

（２）【特別活動の様子】
・内容ごとに評価の観点に照らして十分満足できる状況にあるときのみ、〇印が記入されています。

（３）【行動の様子】
・項目ごとに趣旨に照らして十分満足できる状況にあるときのみ、〇印が記入されています。

（４）【総合的な学習の時間の様子】
・３～６年生は学習活動の過程、報告書や作品発表や討論などに見られる学習状況や身に付いた力を、学習方法・自分自身・他者や社会との関わりの３観点から評価し、学年末に文章で記述します。

（５）【外国語活動の様子】
・１～４年生は外国語活動の時間の学習状況や身についた力について、学年末に文章で記述します。

（６）【特別の教科道徳の様子】
・特別の教科道徳の時間の一年間を通した学習状況や道徳性に係る成長の様子について、学年末に文章で記述します。

（７）【総合所見】
・学校生活全体を通して特にお知らせしたいことについて文章表記されています。学習、特別活動及び行動の様子について、顕著だった成果や進歩の様子、学習や活動に対する意欲や態度等を、学年末に文章で記述します。

＜保護者の皆様へのお願い＞
・「かがやき」はかがやき用の封筒に入れてお渡しいたします。ご確認いただき、封筒の表面に確認印を押印後、後期始業式にお子さんに封筒のみを持たせてください。「かがやき」は、ご家庭で保管してください。